

委

常任



産業厚生

地

権者説明会を開催 県道広野・小高線整備事業

本路線の起点となる
桜田交差点改良事業計
画は県が事業主体とな
り、国土交通省磐城国
道事務所、県相双建設
事務所、県公安委員会
の3者間で協議が進め
られますが、10月頃ま
でに関係地権者への計
画説明会を開催したい
とのことでした。
また、他の工区につ

いても地権者への計画
説明会を開催し、今年
度中に一部用地の取得
に努めるとのことです
た。

委員会としては、こ
の事業は町の幹線道路
網を構成する重要な路
線であることから、事
業の推進について検討
して行くことにしまし
た。

産業厚生

町

にとつて必要不可欠 日の出橋りょう整備計画

事業の再開に当たっ
ては、平成元年度に自
主設計をしたのち、約
20年が経過し、その間
に設計活荷重や耐震基
準、降雨強度式が変更
されていることから、
新たに調査設計をする
必要があるとのこと
でした。

委員会としては、こ
の橋りょうについては
県道広野・小高線との
整合性もあり、町に
とつて必要不可欠と思
われるため、今年度中
にも補正予算を計上
し、最優先で事業を進
めるよう提言しました。

産業厚生

一

部は既に改良済み 町道高萩・田中線整備計画

高萩地区は、平成2
年度に改良工事に着手
し、日の出橋計画地点
の右岸まで改良されて
いますが、県道広野・
小高線のルートが現実
化したため、事業を再
開したいとのこと
でした。

委員会としては、改
良も済んでいることか
ら早急に取り組むこと
が最良の方法であり、
他の3つの道路整備計
画ともそれぞれ関連す
るため、優先順位を付
けて整備を進めるよう
提言しました。

産業厚生

平

面交差で道路を拡幅 下浅見川線整備計画

鍛冶屋前踏切につい
ては、県道広野町停車
場線の接続部から踏切
までの40m区間の用地
問題が解決しつつある
ため、立体交差等、技
術面での手法は多々あ
るものの、今回の県道
広野・小高線の整備を
機に平面交差による拡
幅改良計画を進めたい

とのことでした。
委員会としては、町
の東側と結ぶ重要な生
活道路に位置づけられ
ていることから、改良
の見通しが付いたのを
契機にJR水戸支社と
十分に協議したうえで
計画を進めるよう要望
しました。



桜田交差点改良事業計画地

総務文教

高校生用居室増築工事 国際人育成支援事業

継続事業として4年目を迎えたこの事業は、今年度を最終として、「広野町サッカー支援センター増築工事」を発注しています。工事は仮設から基礎工事に入った段階で、

8月末の進捗率の見込みは20%ですが、3週間程度の遅れがありました。また、今後の発注事業概要については、高校生用居室用備品・食堂用備品・ミーティングルーム用備品の購入を計画していますが、これらの発注は11月下旬とし、納入期限については、平成21年3月中旬とのことでした。

総務文教

買取り金額の引き下げが前提 雇用促進住宅ひろの宿舎取得

現在、独立行政法人雇用能力開発機構が提示している譲渡金額は、概算の数値を得るため1社の簡易鑑定によるものですが、譲渡を受ける意思を表示すれば、既に2社により算出されている鑑定評価の結果を基に協議することになります。また、耐震強度の不足、その他、施設設備に不具合がある場合は、機構側で補強あるいは修繕工事を行う用意もあるとのことでした。委員会としては、買取り金額の引き下げを前提に、定住人口確保の観点から、7月1日現在の48世帯、151人の入居者の継続居住、また、条例整備等も踏まえ、町の住宅政策の見直し・推進の好機ととらえ、前向きに検討するよう要望しました。

委員会報告

委員会の活動状況を報告します。



雇用促進住宅ひろの宿舎

議会の動き

7月

2日～4日 総務文教常任委員会視察研修

2日～5日 双葉地方町村議会議長行政調査研修

7日 全員協議会

8日～10日 双葉広域圏議会保健衛生常任委員会行政視察

11日 広報委員会

15日～17日 産業厚生常任委員会視察研修

22日 福島県町村議会議長会正副会長会議

24日 福島県町村議事・監事合同会議

28日～30日 都道府県町村議会議長会会議

29日 双葉広域圏議会消防厚生常任委員会行政視察

29日 福島県都市計画審議会

29日 福島県後期高齢者医療広域連合議会

4日 宮城県山元町議会広報特別委員会来訪

8日 全員協議会

8日 産業厚生常任委員会

18日 双葉広域圏議会保健衛生常任委員会

19日 総務文教常任委員会

20日 双葉広域圏議会消防厚生常任委員会

22日 福島県市町村総合事務組合議会

22日 福島県町村議会議長会平成19年度決算監査